

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	在宅ねたきり老人紙おむつ支給事業			事業コード	0425
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室		担当係名	
	課長名	渡邊 光市	担当者名	保健福祉部 高齢者支援室 小野幸子	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	介護保険費特別会計 3款 2項 2目 紙おむつ支給事業委託料(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成4年度～)		
事務事業の概要	在宅ねたきり高齢者等の世帯に紙おむつを支給する					
根拠法令等	盛岡市在宅ねたきり高齢者等紙おむつ支給事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
旧都南村で実施していた事業であり、平成4年度に旧都南村と合併したことにより事業を継承した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民から、紙おむつの支給枚数の増加や支給品目の追加について、要望が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか						
高齢者人口の増加に伴う利用対象者の増加が見込まれている。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	65歳以上で寝たきり又は疾病により紙おむつを常時使用している状態が6ヶ月以上あるいは6ヶ月以上継続することが予測される者で、市県民税非課税世帯に属している者。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 支給対象者	単位	203人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 申請に基づき、紙おむつを1か月1人あたり20枚～210枚以内の範囲で支給した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 前年度同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 支給枚数	単位	171,685枚
				B. 支給にかかる金額	単位	5,438,000円
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	安全かつ衛生的に在宅生活を送ることができる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 支給にかかる金額/支給対象者 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	円
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	日常生活を安心して不便なく送ることができる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	相談などを受けている高齢者数(単位:人) 介護予防事業参加者数(単位:人) 介護保険サービス利用者数(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	支給対象者	203人	164	163	199	203	203		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	支給枚数	171,68 5枚	158,940	170,045	181,400	171,685	181,400		年度
活動 指標B	支給にかかる金額	5,438,0 00円	4,564,330	5,066,775	5,795,000	5,125,919	5,438,000		年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	支給にかかる金額/支給対象者	円	27,831	22,519	26,340	25,250	26,788		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	4,565	5,067	5,795	5,126	5,438		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	4,565	5,067	5,795	5,126	5,438		*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	4,565	5,067	5,795	5,126	5,438		*****
	延べ業務時間数	時間	40	40	40	40	40		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	160	160	160	160	160	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,725	5,227	5,955	5,286	5,598	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 要介護者が在宅生活を維持していくうえで、介護者の負担軽減を測ることは結果に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 紙おむつの購入費用は低所得者にとって経済的負担が大きく、市が支援すべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 高齢者の在宅生活を維持するうえで、低所得世帯への経済的支援であることから妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 高齢者の在宅生活の維持のため、介護者の負担軽減を目的としていることから妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 支給対象者数と予算額の間を維持することとしており、向上余地はない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 低所得介護者への経済的負担増加につながる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費が紙おむつ支給にかかるものとなっていることから、今以上の削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 社会福祉協議会への委託事務の処理であることから、今以上の削減はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 低所得世帯に限定して経済的負担の軽減を図っており、在宅介護者の経済的な理由による介護放棄を防いでいる
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益者負担によって、経済的理由に起因する在宅介護者の介護放棄が懸念される。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 利用者の介護者も高齢化しており、受取施設へ出向くことが困難な世帯もある。そのため高齢の介護者に対する支給手段を検討する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 宅配方式を導入する場合は、財源の確保が必要になる。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>見守り支援の取組みとして、事業の必要性は高く、今後も利用者の増加が見込まれる。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携             </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>事業内容の検証を行ないながら、必要に応じて改革改善を検討する。</p>							